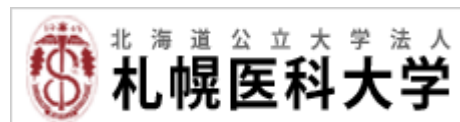


12/20(火)の行事

報道発表資料の配付日時 令和4年12月2日(金) 14時00分

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p align="center">「令和4年度医療機器等関連産業参入研修会（札幌医科大学医療現場二 ーズ発表会）」の開催について</p>															
<p>開催概要</p>	<p>【開催趣旨及び開催概要】 道内ものづくり・IT企業等の医療機器等関連産業への参入や企業間連携を促進するため、医療機器製販企業による講演や医療周辺機器等の開発に取り組んでいる道内企業による事例紹介、札幌医科大学附属病院の医療現場における医療機器開発等の二ーズ紹介を行う、医療機器等関連産業参入研修会を開催します。</p> <p align="center">記</p> <p>○日 時：令和4年12月20日(火) 14:00~16:00 ○会 場：会場およびオンライン配信 (Zoom) 会場：札幌医科大学記念ホール (札幌市中央区南1条西18丁目) ○共 催：北海道、札幌医科大学、ノーステック財団、札幌商工会議所 ○協 力：(株)北洋銀行、(株)北海道銀行 ○定 員：会場50名、オンライン100名 (先着順・参加費無料) ○対 象：道内ものづくり企業、IT企業等 ○内 容：(1) 講演：「医工連携について」 (株)常光 札幌研究開発室 課長 薬袋 博信氏 (2) マッチング事例紹介 ① タキゲン製造(株) 札幌支店営業課 主任 照井 宏和氏 ② (有)北海化成工業所 櫻井 美果氏 (3) 札幌医科大学二ーズ紹介 ：札幌医科大学におけるマッチング状況の紹介 札幌医科大学 産学連携コーディネーター 板垣 史郎 <発表二ーズ8件></p> <table border="1" data-bbox="379 1563 1406 1921"> <thead> <tr> <th>担当部</th> <th>発表予定二ーズタイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線部</td> <td>多目的放射線プロテクター清浄機</td> </tr> <tr> <td>回診用ポータブルX線撮影装置(ポーター)の感染対策ビニールカバー</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨床工学部</td> <td>壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ</td> </tr> <tr> <td>壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー</td> </tr> <tr> <td>ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション部</td> <td>痰をとる低圧持続吸引器</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション部</td> <td>スプリント端材の再利用</td> </tr> </tbody> </table>	担当部	発表予定二ーズタイトル	理学療法学科	ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」	放射線部	多目的放射線プロテクター清浄機	回診用ポータブルX線撮影装置(ポーター)の感染対策ビニールカバー	臨床工学部	壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ	壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー	ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード	リハビリテーション部	痰をとる低圧持続吸引器	リハビリテーション部	スプリント端材の再利用
担当部	発表予定二ーズタイトル															
理学療法学科	ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」															
放射線部	多目的放射線プロテクター清浄機															
	回診用ポータブルX線撮影装置(ポーター)の感染対策ビニールカバー															
臨床工学部	壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ															
	壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー															
	ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード															
リハビリテーション部	痰をとる低圧持続吸引器															
リハビリテーション部	スプリント端材の再利用															
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>医療現場の生の声から、道内ものづくり企業が製品化を目指すユニークな試みであり、また、これまでの本イベントによる産官学連携の成果も発表しますので、積極的な取材等をお願いします。</p>															

PRESS RELEASE



<https://web.sapmed.ac.jp/>

本件に関する問い合わせ先	札幌医科大学 附属産学・地域連携センター 担当：板垣 事務局研究支援課 担当：新井 TEL 011-611-2111（内線：21570、21590）
--------------	--

医療機器等関連産業参入研修会

日時：令和4年12月20日（火）14:00～16:00

会場：札幌医科大学 記念ホール（札幌市中央区南1条西18丁目）

定員：会場50名、オンライン100名（参加無料）

成長が期待されているヘルスケア関連産業において、ものづくり技術やIT技術を活用した、道内企業の参入促進や企業間の連携促進を目的として、研修会を開催します。

研修会では「医療機器製販企業による講演」や「医療周辺機器等の開発に取り組んでいる道内企業による事例紹介」、「札幌医科大学附属病院の医療現場における医療機器開発等のニーズ紹介」を行い希望する企業とのマッチングを行います。

14:00 開会

14:05 講演「医工連携について」

株式会社常光 札幌研究開発室 課長 薬袋 博信 氏

14:25 マッチング事例紹介

- ①タキゲン製造株式会社 札幌支店 営業課 主任 照井 宏和 氏
 ②有限会社北海化成工業所 櫻井 美果 氏

15:05 札幌医科大学ニーズ紹介

札幌医科大学 産学連携コーディネーター 板垣 史郎 氏
 ・札幌医科大学におけるマッチング状況の紹介
 ・医療ニーズの紹介

16:00 お知らせ、閉会

	ニーズ		ニーズ
1	ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」	5	壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー
2	多目的放射線プロテクター清浄機	6	ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード
3	回診用ポータブルX線撮影装置（ポーター）の感染対策ビニールカバー	7	痰をとる低圧持続吸引器
4	壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ	8	スプリント端材の再利用

お申込 お申込先は下記URLから、あるいは裏面の申込用紙に必要事項を記載しメールまたはファックスしてください。
<https://forms.gle/hJe1kMPYMjwqrarM6>

対象 ヘルスケア関連産業への参入を検討している企業、すでに参入している企業、他

共催 北海道、札幌医科大学、札幌商工会議所、ノーステック財団

協力 株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行

留意事項 ・次ページの「参加に際してのお願い」をご確認いただき、新型コロナウイルス感染対策へのご協力をお願いいたします。
 ・オンライン参加を希望された方には19日にzoomのURLをご連絡いたします。



<問い合わせ先>

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（略称:ノーステック財団） 研究開発支援部 富樫・小原
 TEL：011-708-6392 / FAX：011-747-1911 / E-mail：h-medicalnet@noastec.jp

会場での参加に際しまして

- ① 受付での検温、手指の消毒にご協力ください。発熱や体調不良の場合は参加をご遠慮いただく場合があります。
- ② 受付時は1 m程度の間隔を開けてお並び下さい。時間に余裕を持ってご来場いただけますと幸いです。
- ③ 会場内ではマスクの常時着用をお願いいたします。
- ④ 以下に該当する場合は、来場をご遠慮下さい。また、セミナー中に下記の症状が発生した場合は、ご帰宅をお願いいたします。
 - 37.5度以上の熱がある
 - 風邪の症状がある
 - 倦怠感がある
 - 息苦しさがある
- ⑤ ご参加いただきました研修会で新型コロナウイルス感染者が確認された場合、感染症法に従っての対応のため、弊社団で取得済みの情報（氏名、連絡先等）について保健所にお伝えする場合がありますので、予めご了承ください。

下記「参加申込書兼秘密保持に関する申し合わせ」に記載の上、メールもしくは、FAXにてお申し込み下さい。

（※メールの場合は、参加方法、下記「申し合わせ」をメール本文に記載して下さい。）

申込期限：令和4年12月16日（金）

申込先：公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
研究開発支援部 富樫、小原 行

お問合せ TEL：011-708-6392 FAX：011-747-1911
E-MAIL：h-medicalnet@noastec.jp

（参加申込書兼秘密保持に関する申し合わせ）

企業名	
住所	
電話	

所属・役職	氏名	E-MAIL	参加方法(○を記入)
			対面・オンライン
			対面・オンライン
			対面・オンライン

（申し合わせ）

医療機器等関連産業研修会で紹介された医療ニーズ情報を第三者に漏洩しないことを誓約します。

また、医療ニーズにつきましては、発表者との共同開発の実現を目的とするものであり、その目的以外では使用、複製しないことを誓約します。